

教育改革、地域福祉の充実、インフラ整備、 既得権益の打破、これからも突き進みます。

代表質問のご報告

平素は、ご支援を賜り誠にありがとうございます。現在、「子どもの笑顔が好き 豊かな高槻に」の実現に力を入れているところでございます。引き続き、実績を一つ一つ積み上げて、皆様へ改革の成果を実感して頂けるよう努力してまいります。今後とも皆様方のお力を、お貸し頂きますようよろしくお願い申し上げます。

平成28年3月実施の定例会にて、会派を代表しまして、市長の施政方針や予算編成方針に対して、代表質問を行いましたことの内容を、ご報告いたします。



1 JR高槻駅における利便性と安全性について JRと阪急鉄道の高架化推進!

3月26日よりJR高槻駅新ホーム・新西口改札が供用開始されることになり、それに合わせ周辺道路整備も行っております。これまで無かった転落事故防止柵が設置され、安全性が高くなっただけでなく、関西空港へ直結する特急「はるか」が停車することになり、更に利便性が高くなります。

本市の経済効果を期待する反面、JR摂津富田駅周辺での踏切事故防止や阪急富田駅周辺での踏切渋滞解消による市民の安全を守る取り組みとして、JRと阪急電車の高架化推進について進言しました。



2 子育て支援について 「子ども家庭センター」の設置 「子ども食堂」の支援!

本市は、これまで待機児童の解消や医療費の無償化など多くの子育て支援をしてまいりました。しかし、社会状況の悪化から児童虐待や子どもの貧困が大きな問題となっています。本市の児童虐待相談件数も年々増加、少子化だと言われながらも子ども達が大切に育てられていない現状があります。

私は、ダイレクトに子どもを支援することが必要と考えています。それには、カンガルーの森に子ども家庭センターを設置するほか、貧困・個食(孤食)で苦しむ子どもを見守る「子ども食堂」の支援や、虐待を受け行き場の無い子どもが、夜間一時保護される場所の確保です。行政とNPO等が協働して子育て支援事業を拡大する考えはないのか、と正しました。



3 小中一貫教育とコミュニティ・スクールについて 長年訴えてきたこと

義務教育の9年間を一体的に行う「小中一貫教育」が制度化されます。小中一貫教育は小学校から中学校へ進学する際の環境変化による不登校や、いじめの増加など「中1ギャップ」の解消に効果があるとされています。本市では、連携型小中一貫校を推進し、一部の学校で研究をされてきました。そして、ようやく全ての小中学校において連携型を開始することになりました。

ただ、私は長年、小中一貫教育とコミュニティ・スクールを強く要望してまいりましたが、連携型より施設一体型の方を推進しております。なので、施設一体型と同時に、地域住民や保護者が学校づくりに参画するコミュニティ・スクールも検討いただけるように、さらに発言しました。



(出典:三奈市HP「小中一貫教育のタイプについて」)

4 児童・生徒の安全について 通学路に防犯カメラを設置 International Safe School推進!!

子どもを狙った犯罪が多い社会の中で、本市では、嬉しいことにPTA、地域(セーフティボランティア)の方々が登下校を見守ってくださっております。さらに、市が、通学路に防犯カメラを410台設置することについて、一歩前進とは思いますが、近隣の市の設置台数と大きく差があることもあり、子どもの命を守る取り組みとしては、充分と考えておりません。より一層、ISS認証に向け、児童・生徒の安全を図っていただきたいと発言しました。



(出典:亀岡市HP「国際的セーフスクール」)